

**平成29年度
第1回地域振興会議会長会議事概要**

日 時：平成29年8月9日（水） 14時00分～16時10分
場 所：市役所本庁舎6階 全員協議会室

〔本庁関係〕 2名

深澤市長、久野地域振興局長

〔各地域振興会議〕 16名

会 長：森原会長(国府)、南部会長(福部)、竹田会長(河原)、西川会長(用瀬)
上田会長(佐治)、池長会長(気高)、田中会長(鹿野)、高橋会長(青谷)
総合支所：安本国府支所長、平戸福部支所長、野際河原支所長、田中用瀬支所長
西尾佐治支所長、武田気高支所長、徳岡鹿野支所長、山本青谷支所長

〔事務局〕 3名

地域振興局地域振興課：竹氏次長、国森課長補佐、平井主事

【会議次第】

- 1 開 会
- 2 市長あいさつ
- 3 地域の課題及び進捗状況について
- 4 その他
- 5 閉 会

議 事 概 要

1 開 会 (14:00)

2 市長あいさつ (14:01)

3 地域の課題及び進捗状況について

①国府地域振興会議 森原会長 (14:06~14:15)

○地域振興会議の状況について

今年度はこれまで3回の地域振興会議を開催した。その中で、今年度から実施される中山間地域買い物支援事業について、また防犯カメラの設置による不法投棄対策について等、委員から様々な意見が出されているところである。さらに、先進地視察についても今年度実施する予定である。

○地域課題について

・雨滝

「布引の滝」の湧水を活用して、名水としてアピールできないか。

・避難看板

災害時には、地域外の人にもわかるよう全ての指定緊急避難場所に看板を設置すべきではないか。

・学校施設の環境整備について

少子化が進み、学校内の樹木の剪定等環境整備がPTAでは困難になりつつある。解決策の検討が必要である。

以上の3点が地域課題として挙げられている。これらについて、行政側の考え方も聞きながら、地域振興会議において議論していきたい。

<市長による回答・意見>

○地域振興会議の状況について

不法投棄について、市内においても不法投棄が起りやすい場所はいくつかあるが、抑止する体制づくりが重要である。担当課である生活環境課において、状況を確認し、必要であれば対策を行っていききたいと考える。

○地域課題について

・雨滝

飲料水としての活用であれば、水質検査等も行う必要がある。PRにあたっては様々な補助事業が活用可能と考える。また雨滝はジオスポットでもあるので、湧水に限らずPRしていきたい。

・学校施設の環境整備について

樹木の管理等学校施設内の維持補修については、優先順位をつけながら対応しているところだが、現状確認の上対応したい。

②福部地域振興会議 南部会長 (14:16~14:30)

○福部未来学園について

校舎一体型の幼小中一貫校として増改築工事が進行している。来年4月には全園児・生徒が一つの校舎で学べる予定であり、大変ありがたく思っている。引き続きよろしくお願ひしたい。

○駒馳山バイパスについて

駒馳山バイパス海士地内へのインターチェンジ設置については、平成27年より県に要望していただいている。また今年度からは「総合政策調査委託事業」を利用し、インターチェンジを活用した福部町のまちづくり計画について、鳥取大学に研究委託している。引き続きよろしくお願ひしたい。

○ツキノワグマ対策について

福部地域において、ツキノワグマの目撃情報が多発している。昨年に比べ今年は5倍以上(4~6月:2件→11件)の件数であり、非常に懸念している。市においては従来から鳥獣害対策について注力していただいているところだが、クマ対策についても併せてお願ひしたい。防災については、各地域に自主防災組織がある等対策されているところだが、鳥獣被害については具体的な取組がなされていないように思う。各地域に鳥獣害被害対策協議会のようなものをつくり対策する必要があると考える。

○防犯灯について

集落内においては防犯灯の設置・維持管理はできているが、集落と集落の間に設置されていない箇所があり、

危険を感じる。夕刻に、防犯灯のない暗い夜道を生徒が一人自転車で帰るようなこともよく見かける。市道においては概ね設置されているが、国道沿い及び県道沿いが設置できていない。国及び県に対する働きかけをお願いしたい。

<市長による回答・意見>

・駒馳山バイパスについて

海土地内へのインターチェンジ設置については、毎年のように国及び県に要望を行っているところである。今年度より「総合政策調査委託事業」を利用し、インターチェンジを活用した福部町のまちづくりについて鳥取大学に研究いただくこととしており、研究の成果を活用していきたい。また山陰近畿自動車道の早期整備の実現に向けても進めていきたい。

・ツキノワグマ対策について

昨年は用瀬が多かったが、今年は福部に頻出している。情報提供・注意喚起を行っていきたくと考えている。また、自主防災会のような幅広い組織を立ち上げて、全市的に対策を行っていく必要がある、とのご提案をいただいた。早速検討していきたいと考える。今までは対処療法的に対応してきたが、現在の状況を確認し適切な対応を取っていくことが必要だと考える。殺処分に関しても、従前は生態系保護の観点から難しかったが、県としても基準を緩和してきており、殺処分が必要な場合は行えるようになってきている。また捕獲檻の増設も検討していく必要があると考えている。

・防犯灯について

以前からの課題だと認識している。国道及び県道への設置については市だけでは難しい部分もあり、国及び県に対し必要性について要望していきたい。集落と集落の間の防犯灯の維持管理について、どの集落が負担するのか、ということについてはもう少し具体的に検討する必要があると考える。

③河原地域振興会議 竹田会長（14：31～14：49）

○台風5号による被害について

市道小河内新田線が土砂崩れにより一時通行不可となった。地域づくりには安全対策が必須であり、今回の被害は教訓となった。

○先進地視察について

先日、島根県中山間地域研究センターへの視察を行った。先進地の事例等を学び非常に参考になったが、同じことを河原地域でやろうと思ってもできない。河原地域にあった取組をすべきであり、その点においても大変参考になった。

○工業団地（山手・布袋）について

2団地併せて3社しか操業していない。今後誘致が見込まれる企業があれば知りたい。併せて今後の雇用情勢等もお伺いしたい。

○観光資源の再開発について

三滝溪の指定管理施設については、経年劣化に加え、昨年10月の鳥取中部地震の際に被災し修復が必要となっている。最低限の修繕をお願いしたい。また現在の指定管理者は町外の方だが、土日しか開所しない等評判が良くないと聞く。指定管理期間が平成30年3月までであり、次の指定管理については地元であるいなば西郷むらづくり協議会をお願いしたいと考えている。

また霊石山の山頂については、ジオパークエリアでもあるが、整備が行き届いていないように思う。対応を検討いただきたい。

○コミュニティセンターについて

基幹公民館からコミュニティセンターへの移行に伴う使用制限の緩和を受け、民間の利用等使用される回数が増えているが、雨漏りや空調設備の不良等整備が必要な箇所が目立ってきている。支所の耐震化に併せてコミュニティセンターについても整備いただきたい。

○鮎の減少について

河原町は鮎のまちとして有名だが、最近鮎が減少している。市としても原因を究明してほしい。

○鳥獣被害対策について

猟期である11～2月に有害鳥獣の駆除のための補助金を出してほしい。

<市長による回答・意見>

○台風5号による被害について

市道小河内新田線の土砂災害については、地元消防団による深夜の巡回時にいち早く発見いただき、市において適切な対応を取ることができた。地元消防団の皆様へ感謝したい。また新田集落の皆様においては、小河

内公民館へ避難いただいております。避難への理解及び迅速な行動に感謝したい。今後も危険な箇所は随時把握していく必要があると考えている。

○工業団地（山手・布袋）について

将来有望な優良企業に進出いただいている。中でも㈱イナテックについては今年6月時点で46名が雇用されており、今後も当初計画である100名程度を雇用予定と聞いている。また今年6月に操業開始したマルサンアイ㈱についても既に32名雇用されており、同じく100名程度雇用予定と聞いている。人材不足が懸念される所だが、県内の高校生、大学生及び県外に進学された方に対して、鳥取市にはこのような優良企業があるということアピールし、地元での就職につなげていきたい。

今後の見通しとしては、河原インター山手工業団地については1区画誘致折衝中であり、他の1区画も㈱イナテックが予約している状況。鳥取南インター布袋工業団地については、アクセスの良さや豊富な水資源等好条件に恵まれており、しっかりPRしながら誘致活動に取り組んでいきたい。

○可燃物処理場の整備状況について

建設予定地の保安林解除の手続きが整い、造成工事に着手する運びとなっている。またプラント本体についても、発注に向け準備を進めているところである。

○観光資源の再開発について

三滝溪の指定管理施設については、平成31年度の施設再開を目指し検討中。今後の施設の在り方について、いなば西郷むらづくり協議会と協議中である。また霊石山の整備については、林道中山線の法面改良工事を今年度から来年度にかけて予定している。ジオパークエリアでもあり、情報提供・PRをしていきたい。

○コミュニティセンターについて

河原支所も耐震整備予定であり、周辺の公共施設の複合化も視野に入れながら検討していきたい。また施設の今後の在り方についても、地域の皆様の意見を聞きながら検討していきたい。

○鮎の減少について

河川整備の状況や放流時期の水温等複合的な要因ではないかと考える。今年6月に「水辺の環境保全協議会」を設置し議論し各分野の専門家の方に議論いただいているところである。引き続き関係機関と協力し検討を進めていきたい。

○鳥獣被害対策について

猟期に補助金を制定することによる効果があるかどうか見極めることが必要であり、検討していきたい。

④用瀬地域振興会議 西川会長（14：50～15：00）

○総合支所整備について

地域振興会議において、立地や住民利便性等総合的に勘案した結果、現在の庁舎を耐震改修するとともに、老朽化している用瀬図書館を併設する案を提案させていただいたところである。実施設計にあたっては、支所及び図書館が住民の交流の場として親しまれるよう検討していきたい。その一環として、先日、複合施設の先進地である岡山県と広島県への視察を行った。特に広島県の施設（東広島市福富支所）は図書館に加え包括支援センターや社会福祉協議会等複数の施設が併設されていることもあり、図書館の利用率が高いことが特徴。用瀬支所の整備においても利用率を高める方策を検討する必要があると考えるが、このことについて地域住民の意向を反映いただきたい。

○保育園等跡の利活用について

用瀬町内の3保育園の廃止及び用瀬図書館の移転後の施設の利活用について、関係課と協議をしていきたい。また利活用する場合、改善や修繕が必要であればお願いしたい。

<市長による回答・意見>

○総合支所整備について

支所の耐震化及び複合化については、今年の9月議会の補正予算で設計費として3,300万円程度計上予定。また来年度に建築費を計上の予定。平成31年末には支所、図書館ともに引越しを行う予定としている。また利用率を高める方策を検討する必要があるというご指摘だったが、地域の皆様のご意見を改めて幅広く伺い、今後の整備に反映させていきたい。

○保育園等跡の利活用について

用瀬町内の3保育園統合後の新しい保育園については、平成31年3月に新園舎が完成し、同4月開園予定である。保育園跡の利活用については、市としての公的活用の有無及び地元での活用の可能性について検討していきたい。大村保育園は遊戯室について現在も地域の方に活用いただいております。また社保育園についても地域として利用したいという意向を伺っているところである。用瀬保育園については、敷地が土砂災害危険区域の中に入っており、施設の利活用は難しいと考えている。大村保育園及び社保育園の利活用については、地域

の皆様の意見を伺いながら方向性を検討していきたい。

⑤佐治地域振興会議 上田会長（15：01～15：20）

○小さな拠点整備事業について

佐治地域が現在進めている小さな拠点整備事業に関して、先日、高知県への視察を実施した。地形等佐治に大変よく似た地域であり、旧小学校跡及び旧農協跡の利活用等について大変参考になった。

○「星取県」の取組について

県では、今年度から「星取県」を宣言し観光誘客の取組を始めた。佐治地域には全国でも有数の公開天文台「さじアストロパーク」があるが、大変賑わっており対応に苦慮している状況。

敷地内に果樹のもぎ取り園（体験農園管理棟）があるが、活用なされておらず空き家状態となっている。この施設を改修し中高生の宿泊施設として活用できないか。

○鳥取県植樹祭について

開催地については県内で持ち回りとなっているが、県東部開催の際にはさじアストロパークを会場にしたいと考えているので、御協力をお願いしたい。

○防災体制の充実について

自主防災会が保有する小型可搬ポンプは23台あるが、このうちの多くが非常に老朽化している。ポンプ1台の更新に対する市の補助は補助率1/2・上限10万円となっているが、自主防災会の負担が大きく更新に至っていないところである。ポンプ更新の補助率の引き上げについて検討いただきたい。

○可燃物処理場について

合併前の旧佐治村と旧用瀬町で使用していた可燃物処理場が閉鎖されたまま残っているが、撤去をお願いしたい。

<市長による回答・意見>

○小さな拠点整備事業について

小さな拠点整備事業については佐治地域において積極的に取り組まれており、9月議会の補正予算にて具体的な予算について計上する予定としている。

○「星取県」の取組について

さじアストロパークについては、引続き生涯学習、観光振興の推進に利用していきたい。敷地内の果樹のもぎ取り園（体験農園管理棟）の改修については、現段階では難しいが、星取県の取組で賑わっているという状況でもあるので、検討していくべき課題だと考えている。

○鳥取県植樹祭について

開催地については県内自治体の持ち回りとなっており、この場では回答できないが、善処していきたい。

○防災体制の充実について

佐治地域には消防車では地形的に対応できない場所もあり、また積雪時においても対応に苦慮することもあると考える。現在の補助制度は十分ではないと承知しており、安心安全なまちづくりの観点からも、こうした補助事業の在り方を考えていかなければならないと感じている。また自治総合センターが扱うコミュニティ助成事業の活用も検討いただければと考える。地域防災力の向上については引続き充実を図っていく。

○可燃物処理場について

解体撤去に使える有利な国等の財源がなく、財政状況も勘案しながら検討していきたい。

⑥気高地域振興会議 池長会長（15：21～15：32）

○リノベーションについて

今年2月に開催されたリノベーションスクールにて提案されたプランに基づき、浜村駅周辺の2つの空き店舗のリノベーションが若い人たちによって進められている。地域住民も注目しており、できる限りの支援は行っていくが、市としても理解・協力をお願いしたい。

○浜村温泉館について

浜村温泉館の今後の在り方について、市の観光戦略課、気高支所及び地元関係団体にて検討を進めている。過去の利用状況等勘案すれば、運営方法を改善することで経営は可能との意見も出ている。地域住民が中心となって再生プランを考えていくところだが、安定した運営となるようなプランの立案について市としても支援をお願いしたい。

<市長による回答・意見>

○リノベーションについて

リノベーションスクールについては、本市では平成26年度から毎年開催している。この取組を契機として鳥取市に移住を検討している方もいる。リノベーションスクールの開催やリノベーションの手法を活かしたまちづくりに今後も注力していきたい。中でも気高町では若い方たちの手によって現在もリノベーションが進められており、市としても一緒になって事業に取り組んでいきたい。

○浜村温泉館について

まずこの施設の在り方を検討すべきではないかと考えている。観光やまちづくり、持続的な運営方法などの観点から専門家の方も交えながら、地域振興につながるランドデザインの作成支援を検討している。折しも来年には鳥取西道路の全面開通が控えており、これをチャンスと捉え、気高地域・浜村温泉の再生に地域の皆様と一緒に取り組んでいきたい。

⑦鹿野地域振興会議 田中会長（15：33～15：46）

○気高道の駅（仮称）について

先日、旧気高郡3町にて西ブロック合同会議を開催した。西ブロックとしては、設置が予定されている道の駅の活用方法について関心が高まっている。鹿野・気高・青谷それぞれの地域の活性化につながることを期待しているが、一方で地元の商店街等がさびれてしまうのではないかと、といった心配も地域住民から寄せられている。このような懸念を払拭するため、地域の中で議論を深めていくことを確認した。また商工会が中心となりまちづくり会社が設立された。道の駅の構想検討、特産品開発やイベント企画等に取り組んでいる。このような動きもあるが、地域だけでは力不足なので、道の駅を拠点とした西ブロック3町の活性化について、観光や農業等の各分野において市の支援をお願いしたい。

また、今朝の新聞に道の駅の運営主体に関する投稿が掲載された。市長の感想を伺いたい。

○空き家対策について

鹿野地域では、NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会が市の空き家運営業務を受託し、空き家の利用や移住定住の促進に成果を上げてきた。しかし、近年、家屋の傷みや残存家財の処分がネックとなって、提供可能な空き家の確保に苦慮しているところである。以前は家財道具の処分に対する補助が手厚くあったが、今年度からは補助率が下がり十分な対応ができていない状況。補助の拡充を是非お願いしたい。

また移住定住への取組については市としても注力しておられるところだが、最近情報が少なくなったように感じる。一層連携を密にして情報提供等を行っていただきたい。

○小中一貫校の推進について

平成30年4月の開校を目指し、小中一貫校推進委員会や保護者による検討組織を中心に取組を進めているところである。6年生への教科担任制の導入、各校舎間の情報教育環境の充実や通学形態変更に伴う路線バスのダイヤ見直し等、引き続き強く支援いただきたい。

また、鹿野地域では昨年、約200名の住民で構成される学校応援団という組織を作り、草木の伐採等学校の環境整備に住民自らが取り組んでいる。参考にさせていただければと思う。

<市長による回答・意見>

○気高道の駅（仮称）について

新聞投稿の感想だが、指定管理者の選定については、その過程において不透明な点や不正がないよう公平性や透明性を確保していくことが重要だが、地元の方あるいは地元精通された方が行うのは非常に良いことだと考える。その他中核市に関する意見も掲載されており、これも含めて一つの意見として承ったところである。

道の駅については、鳥取西地域の活性化の拠点となっていくことを期待しており、観光振興や活動拠点等今までの道の駅にはないような機能を兼ね備えた施設にしていく必要があると考えている。鹿野・気高・青谷それぞれの地域の活性化につながる情報発信拠点として整備を進めていくこととしている。

○空き家対策について

本市の移住定住促進への取組としては、平成18年から移住定住相談窓口を設置して専任相談員を配置したり、また昨年1月には情報発信拠点となる移住・交流情報ガーデンを設置する等、情報発信に注力しているところである。引き続き地域の皆様とも連携を密にしながら、移住定住の促進、情報提供を行っていききたい。

また補助制度については、移住者の方からの様々なニーズがあると考えている。それらを見極めながら制度を検討していきたい。今年度からは補助制度の拡充を行ったところであり、引き続き必要に応じて制度の充実を図っていききたい。

○小中一貫校の推進について

6年生への教科担任制の導入に伴う教員配置への配慮や、各校舎間の情報教育環境の充実等取組を進めていくことが必要だと考えている。また通学形態が変わってくるため、バスダイヤの見直しも必要だと考える。主管課である交通政策課より、バス事業者への要望を行う等しっかりと取り組んでいきたい。平成30年4月に

スムーズに開校できるよう、必要な措置を行っていききたい。

⑧青谷地域振興会議 高橋会長（15：47～15：59）

○青谷高校について

「青谷高等学校のあり方を考える協議会」を発展的に解消し、地域住民、行政関係者、青谷高校関係者等からなる「青谷高等学校の活性化を支援する会（仮称）」を新たに立ち上げる予定。前者は総論的な内容だったが、後者はワーキンググループを設置する等実践的な内容としていく予定。また高校側としても、「青谷学」の必修化や地元行事への参加等、地域の特色を活かした教育の推進に全面的に協力してもらっている。

青谷高校は、地域としては非常に重要な地域資源だと捉えている。県立高校なので運営主体は県及び県教育委員会となるが、市としても青谷地域の想いを汲んでいただきたい。

また、8月27日に第3回目となる卓球教室の開催を予定している。毎回100名程度の参加者があり、今回も同程度の参加を見込んでいる。

○上寺地遺跡について

平成10年に弥生人の脳が発掘され、世紀の大発見として注目を集めた。当時に比べると賑わいが下火になってきているように思うが、発掘調査や実施計画の策定等に時間がかかっていることが原因ではないか。昨年度から整備・活用に向けた動きが活発化しており、地元としては交流人口の上積み期待しているところだが、そのためには展示施設の充実化も欠かせない。地元としても田んぼアートや古代米の栽培等交流人口増加に向けた活動を行っているが、地元の盛り上げ等について地域振興会議で議論していく。

<市長による回答・意見>

○青谷高校について

青谷高校の活性化については、青谷地域が持つ特色や魅力を大切にしながら、地域の皆様と一緒に取り組んでいかなければいけないと考えている。青谷高校の活性化を支援することが青谷地域の活性化につながっていくと考える。地域の大切な資源であることは変わらないので、一緒になって取り組んでいきたい。

○上寺地遺跡について

市ひいては県の代表的な地域資源だと認識している。遺跡の内容から、市のみで取り組めるものではないので、国及び県と一緒に取り組んでいきたい。専門家からは非常に高い評価を受けており、遺跡の価値を共有しながら活用策を検討していく必要がある。将来的には青谷上寺地遺跡展示館に代わる施設について検討されていくのではないかとと思うが、息の長い取組になることをご理解いただきたい。

4. その他（16：00～16：09）

（福部地域振興会議 南部会長）「鳥取砂丘らっきょう花マラソン大会」（10月29日開催）について

（国府 安本支所長）「第20回因幡の傘踊りの祭典」（8月19日開催）について

（用瀬 田中支所長）「第31回もちがせふれあいフェスティバル」（8月19日開催）について

（鹿野 徳岡支所長）「第31回鹿野ふるさとミュージカル「鹿野の蒼白い夜」」（8月27日開催）について

「第15回ジュニア川柳大賞募集」（11月17日締切）について

「西いなばようこそスタンプラリー」（11月30日まで）について

（青谷 山本支所長）「あおいち」（8月11日開催）について

「卓球教室2017」（8月27日開催）について

（地域振興局地域振興課 竹氏次長）「第2回鳥取すごい！ライド」（8月20日開催）について

5. 閉会（16：10）